

レジメン名称(サイラムザ(d1,15)+パクリタキセル(d1,8,15) q4w)

胃癌

ID

患者氏名

様

(性別)

身長

cm

体重

kg

年齢

歳

体表面積

m²

薬剤	投与量	投与日			1 コース 4 週間 Day 1・.....8・.....15・.....2229
サイラムザ	8 mg/kg	↓		↓	
パクリタキセル	80 mg/m ²	↓	↓	↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方 化学療法当日：レスタミン 5錠 1× 化学療法時 1 回分

注意事項

パクリタキセル：アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時時、運転等での来院について確認、注意すること。

パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

パクリタキセル、サイラムザ：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は下記参照）

サイラムザ：室温保存では調製 4 時間以内に使用、すぐに使用しない場合は冷蔵庫で保存すること

専用フィルター付き輸液セット使用

投与方法：1 日目、15 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	レスタミン(10mg) 5 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5 分以上かけて、メインルートから投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与
5	生食 50mL 15 分かけて メインルートから投与
6	サイラムザ mg、生食、全量 250 mL 60 分かけて、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
7	生食 100mL ゆっくり、ウォッシュアウト メインルートから（15 分ほど、残りは最後のウォッシュアウトに使用） 終了時、点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たされていること。 終了後、メインルートを止める
8	パクリタキセル mg、生食 250 mL 60 分かけて ケモセーフロックのルートより投与 初回および 4 週以上あいた時下記実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
9	7 の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：8日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	レスタミン(10mg) 5 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5 分以上かけて点滴、メインルートから投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
5	パクリタキセル mg、生食 250 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄